

秋の滋賀を満喫

探勝会



ボランティアガイドに近江八幡の歴史を学ぶ
10月31日、公民館主催の探勝会が開催され、16人が参加した。この行事は、地区住民を対象とした日帰りの研修旅行。ここ数年の行先は京都だったが、今回はその一つ手前、滋賀県の近江八幡と彦根城を訪れた。

ボランティアガイドが案内し、参加者はその説明に熱心に耳を傾けていた。彦根城では、ご当地ゆるキャラ「ひこにゃん」に会うことができなかったが、国宝の歴史に触れ、近江八幡では「鬼平犯科帳」のロケ地となった風情ある街並みを楽しんだ。



ひこにゃんパネルと彦根城

参加者の松葉久子さん(新井区)は「たくさん歩いたけれど、なかなか体験できないことができて楽しかった」と話していた。

秋晴れの下で 伝承獅子舞演舞



10月20日に飯田市中心街を会場に第12回南信州獅子舞フェスティバルが開催された。松尾からは12回目となる寺所獅子舞保存会が参加した。6つの演舞ポイントのうち5つのポイントで、佐々木隆彦会長による獅子舞の見所などの紹介の後、お囃子2曲の演奏と獅子舞の演舞が披露された。

同保存会の獅子舞は天狗が暴れる獅子を鎮める演舞が伝承されている。一時期伝承が途絶えた時期もあったが、区民から復活を望む声が上がった。寺所獅子舞保存会が結成され、現在は区を挙げて伝承に取り組んでいる。同保存会では毎月1回練習を行う中で将来の伝承を見据え子供たちも練習に参加している。演舞披露は、隔年で地区内を巡るお祭りをはじめ、元旦の年始総会、郷土芸能祭りと今回の南信州獅子舞フェスティバル。岐阜県中津川市から来た高橋翔太くん(10歳)は、寺所獅子舞の演舞を見て「(同)フェスティバルは今年で3回目。いろいろな獅子舞があり舞い方も違って見えて楽しい。寺所の獅子舞は天狗がいてかっこいい」と目を輝かせながら話した。

当日は飯田・下伊那地域や伊那市の獅子舞保存会など26団体の大小様々な獅子舞が代わる代わる演舞を披露し、県内外から訪れた観客から歓声が上がっていた。



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷: 龍共印刷(株)



令和元年 こんな年でした

- 前館長勝野さんと前主事代田さんが同時に退任、転任されました(3月31日)
- 「平成」から「令和」になりました(5月)
- 公民館和室の畳と障子を張り替えました(9月)
- 台風19号の影響で運動会が中止になりました(10月)

ふれあいひろば

● 松尾バレーボール後期大会
10月27日、松尾小学校体育館で開催された。結果は以下のとおり。

優勝 新井
準優勝 清水
第3位 八幡町

* 鳩ヶ嶺八幡宮
ライトアップ
11月16日、紅葉ライトアップ



イベントが行われ、森田梅泉さんの笛コンサートや豚汁が参加者にふるまわれた。

ようこそ松尾へ

新井区 小出 隆浩 さん 真理子さん

今回ご紹介するのは、新井区にお住まいの小出さんご家族です。ご夫婦と、7歳と4歳の2人の女の子の4人家族です。昨年1月に上久堅から引越してこられました。それでは、お話をお聞きます。

Q 新井区を選んだ理由は?

A 家を建てようと思い、日当たりの良い場所を探していたところ、ピツタリの場所が見つかったので決めました。

Q 新井区の印象は?

A 引越してきたときに、家の鍵を妻が無くしてしまい大騒ぎしていたところ、ご近所の方が一緒に探してくれました。また、隣家に招いていただき子供にパンやお菓子を頂きました。とっても親切な方が多く頼もしい印象です。

Q 引越してきて良かったなと思うことは?

A 以前住んでいたのはアパートだったこともあり、近所とお付合ひも無く声を掛けるのも少なかったけど、今は、ご近所さんが声を掛けてくださり、毎日楽しく子供も元気いっぱいです。

Q 今、楽しいことは?

A 引越してきてから、松尾のお祭りに参加して、神輿を担ぎ、お酒を飲んで和気あいあいと過ごす時間です。

Q 元気がいいお子さんと仲が良いご夫婦でした。ご協力ありがとうございます。

A ありがとうございます。



松風

8月、神輿会の方に誘われ、生まれて初めて神輿を担がせてもらった。何とも言えない興奮。トランス状態というもどったのか。祭りの魅力に取りつかれたというとたいぶ大袈裟だが、数日後、鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭の準備に初めて参加した▼人付き合いは苦手だったが、祭り以外に地区の活動にも携わり、年齢を超えた付き合いを何度か重ねていく中、人の温かさ、思いやりの大切さが良いものだなど改めて感じられた▼例大祭当日は写真撮影が主な活動だったが、息の合った「セイヤ、セイヤ」の熱い掛け声に加わりたいと思ってしまう自分も少々驚いた。終盤、宮入りの神輿を追い続け、人々の興奮がますます高まっていくのを目の当たりにして胸が熱くなり、担ぎ手たちと一体であるようにも感じた▼ある人が「区に恩返しする気持ちで」と言ったのが印象に残っている。祭りでも会議でも、そこに集まる一人一人がそんな気持ちを持ち寄り、何かを成そうとしている。新参者である私にも何かできないか。来年年番を迎える区民の一人として、あの興奮を再び味わい、広報委員として、祭りの成功に少しでも貢献できれば幸いです。

松尾の人口
男子 6,234人
女子 6,839人
計 13,073人
世帯数 5,182世帯
11月末現在

ユツキー マジック&トークショー

11月16日



次々とマジックを披露

の名前が書かれたトランプが、開けてないペットボトルの中に入るマジックなどを次々に披露した。続いて「ちよっといいはなし」と題したトークショーが行われた。その後、数字の足し算・5本の指同士をくっつけての指体操後出しジャンケンを通じ脳のトレーニング、脳の上の手い騙し方などを教え、盛況の内に幕を閉じた。

参加した家族連れは、「ユツキーはトークも上手いし気さくで可愛らしい」と笑顔で話していた。食事会の後にソプラノ歌手の三浦智恵子さんのすばらしい歌声に耳を傾け、最後に体操などであいの機会もあり、皆満足して敬老の日を過ごしていた。



質問どうぞ

11月16日13時30分より、松尾公民館ホールにて江刺家由貴さんことユツキーによる「ユツキーのマジック&トークショー」が開催され、老若男女約100人が訪れた。ユツキーは元ラジオパーソナリティーで、観客は序盤から引き込まれていった。本に書かれたキャンディーの絵が掛け声と共に飛び出す・観客をステージ上に招き、食材を書いた紙がバウムクーヘンに変わる・子供

各地で文化祭開催される

久井区



野点傘の下で

11月2、3日に久井区集会所で文化祭が行われた。絵画・生け花・手芸・写真など多彩な作品や、自然に

11月10日に水城区文化祭が水城コミュニティセンターで行われた。1階展示室には、区民が作った手芸品や盆栽、模型等が展示された。2階広間では、健康友の会・つくし会による骨密度測定が行われ、老若男女多くの人が診断を受けた。分館前の駐車場では、青年会、実年会、若松会、

水城区

みづき会がそれぞれ焼き鳥、焼きいも、たこ焼き、おでん、五平餅、シクラメン等の販売や、ホットコーヒーなど飲み物のサービスを行った。多くの区民が来場。展示品に感嘆し、手にたくさんの焼き鳥やおでんを持って帰った。



シクラメン販売

敬老会

毛賀区

9月16日に毛賀在住の80歳以上の方を招待して、毛賀ボランテアの会主催「毛賀の敬老会」が毛賀区民会館で開催された。今年50人の元気なおじいちゃんおばあちゃんも参加した。笑ったり歌ったり、楽しい時間を過ごした後、用意された弁当を皆でおいしく食べた。



水城区

11月10日に敬老祝賀会が水城コミュニティセンター2階で12時半より行われた。75歳以上の招待者のうち男性9人、女性16人が参加した。大蔵正明区長の乾杯により祝賀会がスタート。水城バンドによる歌と演奏、伊藤愛子さん(水城区)による歌唱のあと、社会福祉委員会委員による「証城寺の狸囃子」の歌と踊りで大いに盛り上がった。最後に上郷在住の公認運動指導士、宮下泰広さんの健康寿命を延ばすという「やっちゃんの活脳体操」の講演があった。宮下さんの合図で頭と体を動かし、みんなで笑って講演を楽しんだ。

清水区

清水区敬老会が11月23日に行われ、「喜寿」以上の招待者55人のうち27人が参加した。第1部は藤和也歌謡ショー、第2部では清水区の



上溝区

11月17日、上溝集会所2階大広間で敬老会芸能発表祭が行われ、80歳超えの105人の内42人が訪れ、食事や芸能を楽しんだ。発表では、壮年会が運動会本番でできなかった「ハカ」を披露。子供たちも参加し、拍手喝采を浴びた。



各種団体の踊り、歌などの出し物で長寿を祝い、最後に全員で来年の元気な再会を祈って「ふるさと」を歌った。

明区 子供教室 映画鑑賞会

11月16日明コミュニティセンター防災センター2階を会場に、子供教室の一環として児童映画鑑賞会が実施され、未就学児・小学生86人、保護者・役員22人、合計108人が参加した。上映作品は2019年3月に公開された「映画下



映画に見入る子供ら

マイナス196度の世界を体験 松尾小学校の5年生対象に科学実験教室行われる

10月5日に松尾地区青少年健全育成会が、松尾小学校5学年児童132人を対象とした出張科学実験教室を松尾小学校で実施した。実験の講師は、「南信州飯田おもしろ科学工房」代表である三浦宏子さんが務め、松尾サイエンス、育成会スタッフの協力により実験を行った。実験は、マイナス196度の液体窒素を用いて、超低温により空気が液体に変化する様子や、ダリアやバナナを凍らせて、普段では体験ができないような実験を実施。林司校長と5学年教諭が実際に液体窒素に一瞬だけ手を入れ、科学実験は危険を伴うものもあるが、ちゃんとした知識と注意を払えば、安全に面白い実験ができることを子供たちに感じさせた。また、非常に強力なネオジム磁石を液体窒素で冷やすことで、磁場を拒絶し、実際に浮かせる実験、同様の原理を利用した超伝導ジェットコースターなどの実験を行うことで、リニア時代の到来を間近に感じた。教室の最後には、8年後に迫るリニア時代の飯田市がどんな地域になってほしいかの話題となり、子供たちはそれぞれの飯田市の理想像を考え、意見を述べていった。



超伝導ジェットコースターに感動

運動会は中止に なったけど

10月12日に日本列島を襲った台風により、13日に予定していた松尾地区市民運動会が中止になった。

城区

この日は天気が回復し、晴れとなったものの、風が強い一日となった。

城区集会所では12時から慰労会が行われ老若男女約100人が集った。

スポーツ部が中心となつてミニ運動会が企画され、箸で豆をつまみベットボトールに入れる競技や、トランプをめくって合計を競うゲームが行われた。最後は区長とじゃんけん大会をし、運動会の景品が授与された。応援団の披露とスポーツ部による「八力」の披露もあり、用意された料理も飲み物も尽くされ、大満足の慰労会だった。



夜間練習 (城区)



レクリエーション豆つかみ大会 (城区)

運動会を通じてふるさと松尾への愛着を 飯田OIDE長姫高校商業科三年 三嶋らな (寺所区)

飯田OIDE長姫高校では、三年次に「課題研究」の授業で地域に出て学びを深めます。私たちは、松尾地区で学び、活動しているグループです。松尾について調査を深めていく中で、少子高齢化の現在ですが松尾地区へ移住している方は多く、様々な世代の方が住んでいることを知りました。その中で、世代間での関わりや地域への気持ちという点に関心を持ち、調査・研

究を深めてきました。そこで、松尾の特徴をうちに載せ、配布することで松尾に対する気持ちをより深めて欲しいと願い、運動会の景品として配りたいと考えました。どの世代にも使ってもらいやすい点と、形と共に思い出に残る点からうちわ制作を決めました。デザインは、松尾地区のお祭りがモチーフです。表は法被、裏は中心に三つ亀甲、その周りに各地区の名前と

地区ごとの法被の色で足袋を描きました。このうちわには、メンバーの似顔絵と松尾に住んでいる方へ向けたメッセージをカードに載せ、添付しました。多くの世代に行き渡るように、とびつくとちびつこ玉入れて配布する予定でしたが、残念ながら運動会は中止となつてしまいました。また別の機会に配布し、メッセージカードに書いたように、地域の方々にいっしょに松尾を盛り上げていきたいです。

久井区

年番で見せた団結力をそのままに、運動会に向けて大いに気運の盛り上がりが出ていた久井区。その意気込みは来年へと持ち越しとなった。



「あ！勝った！」じゃんけん大会 (久井区)



これぞ大人のパン食い競走 (久井区)

清水区

清水区は、運動会に向けて10月7、8日に練習をした。残念ながら運動会は中止になったが、区民参加の慰労会が盛大に行われ、その席上で今年度新しく作った横断幕が披露された。また運動会の景品をじゃんけん大会の賞品として子供も大人も手に入れて楽しんだ。他に壮年会が豚汁を作りみんなに振る舞った。



横断幕の前で応援合戦 (清水区)



新調横断幕 (みんなで力をあわせて)

明区



夜遅くまで練習したよ (明区)

八幡町区



慰労会で盛り上がった (八幡町区)



レクリエーションも行われた (八幡町区)

熱のこもった練習を行ってきたが、運動会が中止となり10月13日に公会堂で慰労会が行われた。年代別パン食い競争・じゃんけん大会・あっち向いてほしいや応援合戦用だったダンスも披露され、参加者は大いに盛り上がった。

上溝区

3回行った練習もむなし(4回目は中止)、中止された運動会。皮肉にも晴天となった中、130人が集まり慰労会が開かれた。最高の盛り上がりは、応援合戦で披露されるはずだった壮年会の「八力」。晴れ舞台で踊れなかったうつぶんを晴らすと決意をしているようだった。



パン食い競争も練習したよ (上溝区)



慰労会で八力披露 (上溝区)

城区 文化教養講座

11月24日城集会所で、文部主催の「救命講習会」が行われた。飯田消防署の前沢さんを講師に迎え、一般救命講習会を行った。まず、要救助者を見つけたり119番に通報し、落ちていて住所をはっきり言えないテンポで30回連続して呼吸ができない場合、心臓マッサージまたは胸骨圧迫を恐れることなく直ちに開始する。胸の左右の真ん中にある胸骨の下半分に、片方の手の付け根を置き、



1時間の講習だったが時間も忘れるほどで、とてもいい経験が出来、参加者は「いざという時には役に立てるようにしたい」と口々に語っていた。

運動会開会式で毎年紹介されている文化体育振興会から表彰された小・中学生の紹介

- 太田 錬さん(代田区) 第40回北信越中学校柔道大会 出場
- 寺沢 汰くん(代田区) 第50回全国中学校柔道大会 出場
- 伊藤 鈴さん(毛賀区) 第40回北信越中学校柔道大会 出場
- 塩澤 千咲さん(明区) 第40回北信越中学校柔道大会 出場
- 塩澤 晴くん(明区) 第16回全国小学生学年別柔道大会 出場

成人式実行委員会 令和最初の成人式に向けて

飯田市の成人式は20の地区(ご数地区は合同)で開催している。それぞれの地区が工夫を凝らし、地域色にあふれた成人式を行っている。新成人実行委員と地域が共に内容を考え共に運営し、成人となった喜びを分かち合う。地区単位の開催だからこそできる成人式だ。松尾地区でもすでに8月から実行委員会が立ち上がり、実行委員会に手を挙げており、実行委員たちが成式当日に向けて活動している。準備と並行して、生まれて育ったこの松尾を振り返る地域学習を行っている。学習テーマは「相撲」。実行委員の最も印象的だった小学校での思い出が相撲だったことと語り、



地域学習の様子

飯田市総合運動場リニューアル記念式典



リニューアルされたトラック

飯田市総合運動場で10月5日に、陸上競技場走路面とフィールド面のリニューアル工事と芝生の植替えを終えて「リニューアルオープン」として式典が行われた。改修は地方大会公式記録として認定される競技場としてオーバーレイ工法を採用。芝の植え替えは、近年のグラウンド状態や利用状況等から、今後長く利用するためにより良い芝の品種にし、また誇れる芝グラウンドに

することを目的として、6月30日に市民や日頃総合運動場を利用している約500人の協力を得て、近年日本で使われている暖地型芝のティフトン芝苗の植付けを実施した。記念式典は総合運動場を初利用して、完成後の感触を確かめ知ってもらうために行われた。式典は市長あいさつ後、利用団体を代表して飯伊陸協会長の熊谷賢二さんが「新しくなりありがたい。優秀な選手の輩出やこの競技場にふさわしい競技会



記念式典は総合運動場を初利用して、完成後の感触を確かめ知ってもらうために行われた。

第11回地域安全大会開催 1秒で14m! 車は速い!



松尾地区から詐欺被害や交通事故を無くそうと、第11回松尾地区地域安全大会が11月2日に松尾公民館ホールで行われ、約200人が参加した。オープニングの松尾小学校金管クラブによる演奏に続き、飯田市消費生活センター職員、庭村明美さんによる『あなたを狙うトラブル悪質商法と特殊詐欺』に注意と、飯田警察署、福島哲雄さんによる『高齢者の交通安全の現状』と題した講演が行われた。庭村さんは、身近に起こり

得る危険としてオレオレ詐欺や売りつけ電話を松尾まちづくり委員会生活安全役員と交通安全全部員による実演で紹介した上で、詐欺にあった人の約7割は自分騙されないと考えていたとして改めて注意を呼びかけた。福島さんは、高齢歩行者の事故は①薄暮時②自宅から2*圏内③左側から来た車によって発生することが多いとし、「車は速い。車に乗る人はいち早く歩行者に気付くようハイビームを状況に応じて活用し、歩行者は黒っぽい服装を避けて」と呼びかけた。

この講習会は、松尾地区の子どもたちに対して、一流のアスリートとふれあい、体を動かすことを通して、スポーツの楽しさを体感してほしいとの願いの下、松尾地区まちづくり委員会青少年健全育成会が主催する事業。コミュニティスクール(ま

つお新聞第247号3面記事参照)の推進事業として位置づけ、小中学校、松尾地区スポーツ推進委員の協力により実施した。

速く走るためには まずは「普段の姿勢」から

元オリンピック選手で陸上男子1000メートル走の元日本記録保持者、青戸慎司先生による走り方講習会が11月25日、松尾小学校全児童と緑ヶ丘中学校陸上部員を対象に行われた。この講習会は、松尾地区の子どものために、一流のアスリートとふれあい、体を動かすことを通して、スポーツの楽しさを体感してほしいとの願いの下、松尾地区まちづくり委員会青少年健全育成会が主催する事業。コミュニティスクール(ま



青戸先生は「腕の振り方やもの上げ方の他に、普段から背筋をピンと伸ばすことが身体の成長を促すことも速く走れるようになる」と説明。そのうえで「手は生卵を割らないように優しく

り歩いたりし、玄関ホールでは芝育成状況写真を見る事が出来た。勤労者体育館では、スラックラインなどのニュースポーツ講習会が行われた。握り、肘と膝は「L」の形になるようしっかり振り上げ、ゴールまで最短距離で走ること。スタートの際は、前足に体重をかけ、スタート合図後すぐに走り出せるよう、集中力を高めることが大切」と指導した。午後は会場を飯田市総合運動場に移し、緑ヶ丘中学校陸上部への実技指導が行われた。小学校での指導に比べ、より専門的なトレーニング方法について指導があり、「強い選手となるためには自分をいかに追い込むかが大切」という青戸先生の熱い指導に、松尾地区の子どもたちも、普段と異なるハードなトレーニングに取り組んでいた。

一日の事業を通じて青戸先生は「一日で上達することは難しく、毎日の積み重ねによる反復練習が大事である」と強く述べていた。

主事の自転車があつてきた

住民が集い学び合う場である、ここ松尾公民館において不可解な出来事があった。10月1日夕方、三船公民館主事が地区内の移動に使っているロードバイク(スポーツタイプの自転車)が、何者かに盗まれた。主事が約20万円で購入したというこの自転車。公民館敷地内に

チェーンで鍵をかけて停めてあったにもかかわらず、発見時には工具のようなもので切断されたであろう錠だけが現場に残されていたという。主事は落胆の中、その日のうちに警察へ被害届を提出したが、話はここで終わらなかつた。なんと翌朝、公民館駐車場の入口付近に立てかけられている自転車が発見されたのだ。それは紛れもなく主事の自転車であ



自転車と切断されたワイヤー錠

り、さらに驚くべきことに新品のワイヤー錠が添えられていたのである。なぜ戻されたのか、そしてなぜ新品の錠が添えられていたのか、実に奇妙で考えさせられる出来事であった。

台風19号による避難所開設

10月12日から13日にかけて、各地に被害をもたらした台風19号。松尾でも12日朝、飯田市危機管理室から、土砂災害特別警戒区域に、避難準備・高齢者等避難開始が発令され、上溝区、毛賀区で午前中に避難所を開設した。幸いにも内水排除は準備のみにとどまったが、緊急放流が決まり、松尾マレットゴルフ同好会が、ゴルフ場の工作物を移動した。美和ダム緊急放流に伴い、天竜川沿いの住民に対し、避難準備・高齢者等避難開始が発令され、新井区、寺所区、明区、清水区でも避難所を開設した。6カ所の避難所には、合計6人が避難し、不安な時間を過ごした。幸いにも内水排除は準備のみにとどまったが、緊急放流が決まり、松尾マレットゴルフ同好会が、ゴルフ場の工作物を移動した。美和ダム緊急放流に伴い、天竜川沿いの住民に対し、避難準備・高齢者等避難開始が発令され、新井区、寺所区、明区、清水区でも避難所を開設した。6カ所の避難所には、合計6人が避難し、不安な時間を過ごした。幸いにも内水排除は準備のみにとどまったが、緊急放流が決まり、松尾マレットゴルフ同好会が、ゴルフ場の工作物を移動した。

松尾地区の発展のために 寄附100万円

東京松尾会会長の田中健一郎会長(明区出身)より令和元年10月7日付で松尾地区に100万円の寄附があった。飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」において、市内20地区は「田舎へ還ろう戦略」に取り組んでいる。市では、これまでのふるさと納税「ふるさと飯田応援隊」に加え、各地区を直接

松尾図書館

(公民館2階)
開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時
本のリクエストも受け付けています。

- 【1月】
12日(日)松尾地区成人式
26日(日)分館交流ワンパウンド
【2月】
1日(土)～2日(日)
松尾地区文化祭
16日(日)第57回飯田市民館大会
23日(日)飯田市コミュニティ発表会
【3月】
15日(日)緑ヶ丘中学校ワンパウンド
さらばるパレホール交流大会

おわび

前号4面「市政懇談会 住環境、自然、ゴミ、安心、安全、防犯、災害 第3分科会」の記事で、「1戸当たり5億円」とあるのは「1戸当たり50万円」の誤りでした。お詫びして訂正します。